

発行 ノートルダム清心女子大学附属小学校同窓会
〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2-16-9
Tel 086-252-1486 Fax 086-252-9080



ノートルダム清心女子大学 附属小学校同窓会

デザイン 株式会社 サラト
印刷 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp/>



創立当初の英語の授業

創立50周年 記念号



第1回入学式

Contents

会長あいさつ.....	1
初代校長渡辺先生の思い出.....	2～3
50周年を迎えて	4～7
同窓会総会のご案内.....	7
寄附のご報告.....	7
各期の同窓会でご利用下さい！.....	8
お知らせ・編集後記	8



同窓会会長
1期生
西川 智 晴

ご挨拶

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。同窓会の会長をお引き受けしてから早くも10年の歳月が過ぎ、今年は清心小学校の創立50周年の大きな節目を迎える年となりました。

この50年の間には世界でも日本でも大きな変化があり、清心小学校を取り巻く環境も変わっていきました。校舎は創立当初の木造校舎から旧マリアンホールに、そして10年前には新しい校舎に移転し、よりよい環境へと発展していきました。

また、大変残念なことは、昨年12月には初代校長を6年

間お務めになられた渡辺和子様が天に召されました。清心小学校の創立以来ずっと私たちを見守っていただいたことに心より感謝をし、哀悼の意を表したいと思います。同時にあらためて周りの多くの皆様のご支援とご協力により現在の小学校があることを忘れてはならないと思いました。

そして、周りの環境がどんなに変化しても創立以来変わらない「心清くし 愛の人であれ」という建学の精神のもとに育った我々清心小学校の卒業生は、常に「聡明で思いやりのある心身ともにたくましい人」であるように心がけていかなければならないと思います。

初代校長渡辺先生の思い出

追悼ミサ並びにお別れ会

学校法人ノートルダム清心学園理事長シスター・セント・ジョン 渡辺和子先生は平成28年12月30日に帰天されました。

生前の遺徳を偲び、ノートルダム清心学園による追悼ミサ及びお別れ会が平成29年2月12日岡山国際ホテルにて、執り行われました。

午後1時から追悼ミサの後、お別れ会が引き続き行われました。お別れ会では津田葵理事長職務代行のご挨拶から始まり、日本カトリック学校連合会 坪光正躬理事長、ご友人代表で曹洞宗愛知専門尼僧堂 青山俊董堂長、横溝洋子同窓会会長、附属幼稚園、附属小学校、清心中学校・清心女子高等学校、ノートルダム清心中・高等学校、ノートルダム清心女子大学から一人ずつ在校生代表のお別れの言葉があり、親族代表の小林依子さんのご挨拶の後、葬儀委員長の高木孝子先生のご挨拶で閉

会となりました。

シスター渡辺は27年の長きにわたり学長を務められ、その後お亡くなりになるまで理事長として学園のために献身的にご尽力くださいました。ことにノートルダム清心学園に学ぶ学生・生徒・児童・園児一人ひとりが現代社会に貢献できるよう、教育と学問研究に心を尽くされ、人格教育に全力を注がれました。(式次第の高木孝子理事長のお言葉)

大きな会場が用意されていたにも関わらず、当日は入りきれないほどの参列者でした。皆それぞれにシスターから受けた大きな愛を思い返しているようでした。

渡辺和子先生がお亡くなりになられたことは、悲しく寂しいものですが、先生の蒔いた種がそれぞれの置かれた場所でこんなにも沢山芽吹き、つばみとなり、花が咲き、実になっているのだと、改めて感じられました。

4期生 西川 眞記子



1967年(昭和42年)から1972年(昭和47年)まで6年間
初代校長として務められました。



創立当初の思い出

元教頭 永原 和子



シスター・セントジョン学長(渡辺元理事長の洗礼名を公的に使用)が、昭和40年に清心幼稚園を創立し、昭和42年から小学校を創立されました。そして、校長となられ数名の職員とともに1学年1クラス(担任河本先生)31名の児童を迎えて、カトリックの理念に基づいた教育をめざす小学校を岡山の地にはじめてつくられたのです。そして2年目、私は(昭和43年から33年間)神の力としか思えないようなご縁で奉職させて頂きました。47人が入学し2クラス増え、私と川西先生が担任になりました。

下記の教育目標を基盤にした教育課程を組み入れ計画が立てられていきました。

心清くし 愛の人であれ ・そう明な子ども・思いやりのある子ども・心身ともにたくましい子ども

著書『校長は太陽である』を出版された藤本副校長は、職員も、太陽のようになり全ての子どもに光りをあてて輝かすようにといつも言っていました。担任は学級の子どもの教育のみを考えて進めるようにという方針で、会計その他、全ての事務を田辺先生が一人で窓口になり大変なお仕事をして下さっていました。また、校内・校外研修に力を入れ全職員で東京の玉川学園小学校の研究会に参加し、前頭葉を働かせ考える力をつける教育の実践を研修にいったことなど今でも鮮明に記憶に残っています。外人シスターによる【英語の授業】シスターによる【宗教の授業】も行いました。バーナディンとレジーナ(バザーでのレジーナケーキ

の元祖の方)お二人の授業は迫力がありました。開校当初から宿泊学習は青年の家や日応寺の少年自然の家に行き、水泳指導は、組み立て式プールで夏休み毎日特訓指導(藤勝先生)・保護者会主催によるバザーも開校当初から盛大に実施されていました。(保護者会初代会長鷺江さんをはじめ皆さんのご尽力も大きかったです。また、行事その他全てにご協力を頂きました。保護者の協力無くしては清心小学校の存続はなかったと言って良いでしょう。

今私は退職して16年目を迎えましたが、卒業生にお目にかかったとき、「清心小学校を卒業して良かった。」とよく言って頂きます。それは、最高に幸せを感じます。

現在、小学校は、私たちは夢と思っていた新校舎の建設、国際コース設置により成果を上げておられます。他にも多方面に発展し続けていて、創立者のシスター・セントジョンが岡山の地へはじめてまかれた種がどんどん育ち、花を咲かせ実をつけようとしています。創立者のお喜びが目に浮かびます。きっとお空から、ずっとお祈りをし続けて下さっていることでしょう。今後とも更なるご発展をお祈り致しております。

